

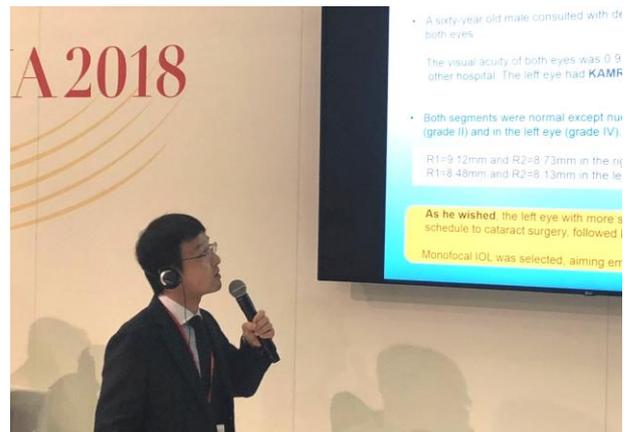
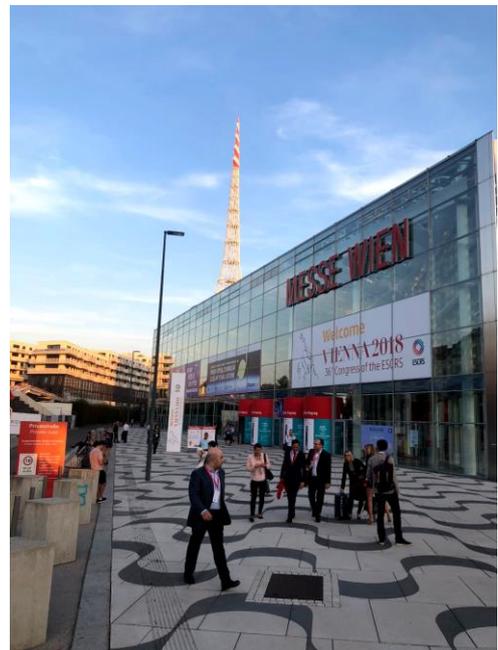


学術学会参加報告

2018年9月 オーストリア首都ウィーンの国際会議場で **ESCRS(ヨーロッパ白内障屈折矯正手術学会)** が開催されました。ウィーンはハプスブルク家の中心文化都市でもともと芸術が盛んな場所です。かつてモーツァルト・ベートーヴェン、フロイト等が活躍した街としても有名です。

世界中から多くの医師・研究者達が集まりました。当院からは西 悠太郎先生(学術研究総括部長)が参加、講演を行いました。国際会議場では多焦点眼内レンズを始めとする(さまざまな種類の)眼内レンズの最新治験データやフェムトセカンドレーザー白内障手術などロボティックな白内障手術に関する最新データが報告されました。

VIENNA 2018
36TH Congress of the ESCRS
22-26 September



悠太郎先生の講演：最新のフェムトセカンドレーザー白内障手術の術後データに関して。
"Updated postoperative YAG capsulotomy rates for aftercataract following femtosecond laser-assisted cataract surgery in Japanese eyes"



第72回日本臨床眼科学会



2018年10月11日より4日間 東京国際フォーラムにて「第72回日本臨床眼科学会」が開催されました。フェムトセカンドレーザー白内障手術のこれまでの実績に基づき、当院の悠太郎先生はランチョンセミナーの「指定講演」に招待されました。フェムトセカンドレーザー白内障手術(CATALYS)を早期に導入した西眼科病院の立場から「多焦点眼内レンズ挿入例」や「特に有効性を感じた症例」について講演を行いました。

最先端の白内障手術の手技・機械に興味を持つ、多くの眼科医・研究者達がこのセミナーに参加、盛会裏に終了しました。

The Catalys System Expert Forum



2018年11月シンガポールにて「フェムトセカンドレーザー白内障手術に関するアジア太平洋ミーティング」が開催されました。アメリカ・オーストラリアやシンガポールなど各国からフェムトセカンドレーザー白内障手術を専門とする眼科医が集結。日本からは当院の悠太郎先生が「招待講演」のため参加しました。

特殊外来・専門外来のご案内

屈折矯正外来(多焦点 IOL・LASIK・フェイク IOL・オルソケラトロジー)・角膜外来(角膜疾患全般・角膜移植(PKP/DSAEK)・羊膜移植・クロスリンク)・ドライアイ外来・ブドウ膜外来・涙道外来(チュービング・DCR)・網膜硝子体外来(メディカルレチナ・サージカルレチナ)・緑内障外来・斜弱外来・セカンドオピニオン外来

基本理念のもと、当院は常日頃からスタッフ全員で症例の共有を行い、患者さんにとっての最適解を選択しております。